

# や **な** い 議会だより

## 9 月 定 例 会

Yanai City Council Information

2023.10.26 No.75

### 【主な内容】

- ・ 定例会の概要 2 頁
- ・ 一般質問の要旨 4 頁
- ・ 委員会での審査 10 頁



株式会社トクヤマゆうゆうファーム水耕栽培施設視察

第3回定例会を9月4日(月)から20日(水)までの17日間の会期で開催しました。

今定例会では、初日に、議案11件、承認1件、認定2件、諮問1件及び報告3件が市長から提案され、補足説明、質疑の後、承認1件及び諮問1件については即決し、議案11件、認定2件については、所管の常任委員会に付託しました。また、陳情1件が上程され、配布・表題等の読み上げがなされました。

一般質問は9月4日に3人、5日に5人、6日に4人の計12人の議員が、28項目にわたり、市長、教育長及び関係参与に質問を行いました。



令和5年度  
柳井市一般会計補正予算  
(第6号)

本議案は一般会計について2億776万円を追加するもので、歳出の主なものは次のとおりです。

**総務費** 財産管理費の積立金は、ふるさと納税等に係る寄附金を、その趣旨に沿っ

会期中の9月7日に建設経済水道、11日に総務文教厚生各常任委員会をそれぞれ開催し、付託議案等について審査を行いました。

20日の本会議最終日は、議案11件、認定2件について委員会での審査の経過と結果が報告され、討論・採決を行い、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

その後、認定5件及び報告4件が市長から追加提案され、認定5件は、所管の常任委員会に付託するとともに、次期定例会までの閉会中の継続審査としました。

て、教育基金、地域福祉基金及びふるさと振興基金に積み立てるものです。企画費には本市への移住・定住を検討する人向けに、令和6年度から実施を予定している「お試し住宅」を開始するための施設修繕等に要する経費等が計上されています。

**農林水産業費** 農地費

には、農業関係者が、農道やかんがい排水施設を維持補修する際に、市が原材料支給及び重機借上げを行うための経費等が計上されています。



**教育費** 体育施設費には、体育施設の修繕のほか、弓道場の建設及び進入路等の整備に必要な経費が計上されています。当初計画では、旧柳井商工高等学校の既存施設をそのまま残した上で弓道場を建設することとされていましたが、射場の設計変更に伴い、支障となる施設を解体



する必要が生じたためです。併せて複合図書館側からの進入路及び駐車場を整備することにより利便性の向上を図るため、これらに係る測量・設計に要する経費が計上されています。

**災害復旧費** 現年農林業施設災害復旧費には、7月の大雨により農道、水路、農地に生じた被害の復旧に要する測量・設計委託料や災害復旧工費が計上されています。現年土木施設災害復旧費についても、市道、河川等の復旧に要する災害復旧工費が計上されています。

## 令和5年9月定例会議案等の審議結果

### 【全会一致で議決した議案等】

#### 【議案】

- ・柳井市印鑑条例の一部改正について
- ・工事請負契約の締結について(3件)
- ・工事請負変更契約の締結について(3件)
- ・令和4年度柳井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- ・令和5年度柳井市一般会計補正予算(第6号)
- ・令和5年度柳井市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ・令和5年度柳井市水道事業会計補正予算(第1号)

#### 【承認】

- ・専決処分の承認を求めることについて  
(令和5年度柳井市一般会計補正予算(第5号))

#### 【認定】

- ・令和4年度柳井市水道事業会計決算認定について
- ・令和4年度柳井市下水道事業会計決算認定について

#### 【諮問】

- ・人権擁護委員候補者の推薦について(前田<sup>まえだ</sup>明教<sup>あきのり</sup>氏)

#### 【報告】

- ・専決処分の報告について
- ・柳井市土地開発公社の清算について
- ・平郡航路有限会社の経営状況について

#### 【陳情】……………(配布・表題等の朗読)

- ・地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望

#### 【認定(最終日)】……………(継続審査)

- ・令和4年度柳井市一般会計歳入歳出決算認定について
- ・令和4年度柳井市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和4年度柳井市市有林野区事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和4年度柳井市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和4年度柳井市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【報告(最終日)】

- ・令和4年度柳井市用品調達基金運用状況の報告について
- ・令和4年度柳井市県収入証紙購入基金運用状況の報告について
- ・令和4年度柳井市奨学金貸付基金運用状況の報告について
- ・令和4年度の決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

通学路の安全確保について  
農業振興施策について



篠脇 丈毅 議員

**問** 通学路は誰が指定し、維持整備されるのか。

**答** 学校保健安全法第27条により、各学校が通学路を定めている。維持管理・整備については、「柳井市通学路安全推進会議」において情報を共有し、必要に応じて現地での合同点検を行った上で所管の機関において対応に努めている。

**問** 登下校の時間帯に車輛通行制限はできませんか。

**答** 通行規制により交通事故の危険性を軽減する可能性を高める一方で、沿道住民の日常生活への負担が生じる場合もある。地域の状況に応じ、子どもたちの安全が確保できるように、各学校と情報を共有しながら粘り強く対策を進めていきたい。

**問** 新庄宮ノ下の歩道橋から柳井駅まで鉄道に沿う市道は、通勤時間帯の交通量が多く危険である。歩道整備はできませんか。

**答** 児童生徒の安全確保を図るため、線路側の未整備区間の道路側溝の蓋掛け、注意喚起の路面標示等の

設置についても検討したい。

**問** 国の食料自給率目標にてもらうし、農業振興施策に生産目標を設け、推進されませんか。

**答** 市独自の生産目標の設定に関しては、その必要性や有用性について関係機関と検討していきたい。

**問** 基盤整備計画の担い手にさらなる支援はできませんか。

**答** 基盤整備を行った多くの地域では既に中山間地域等直接支払、多面的機能支払などの日本型直接支払制度の利用がなされているので、引き続きこの利用を促進しながら、更なる独自の支援については、他市町の施策等を参考にしていきたい。

**問** 食料生産を担う中堅農業者に支援策は考えられませんか。

**答** 農業機械の共同利用に対する支援をはじめとする支援策について、国や県及び関係機関に対して要望等を行うことに加え、他市町の施策を参考にしつつ、今後の地域農業の維持発展につなげていきたい。

防災、柳井駅の南口改札、  
柳井駅北側振興について



下村 太郎 議員

**問** 自主防災組織と今後の防災整備の方向性について伺います。

**答** 本市では、自主防災組織の活動に対し、各種の補助制度を設けており、それらを利用していただきたい。また、自主防災組織が訓練をする場合、危機管理課が訓練内容の助言などを行っている。自主防災組織の活動を通じて、一人ひとりが取るべき行動と地域における防災活動が有機的につながることで、災害に強いまちを実現していきたい。防災備蓄品については、「柳井市災害時備蓄の基本的方針」に基づき、随時購入しており、今後も避難場所等に計画的に非常食や保存水等を配備していく。

**問** JR富海駅改札口など他事例を参考にした低コストでの柳井駅南口改札の実現について伺います。

**答** JR富海駅の仮設駅舎には、入場のみ自動で行える簡易改札機1台のほか、券売機1台が設置されており、利用者数や新駅舎の建設までの日数・コストを勘案して設置されたものである。柳井駅は、地域の拠点

駅として一定の乗降客数があり、入退場可能な自動改札機を複数台設置する必要があると考える。また、周辺の状況に応じた利用者の利便性を図るための環境整備も必要である。柳井駅南口改札の整備については、引き続き将来的な課題としている。

**問** 年間を通じた金魚ちようちん点灯とお祭りに合わせた花火の打ち上げなど柳井駅北側の振興について伺います。

**答** 和紙等で作られている金魚ちようちんでは、天候に耐えられない。また、電飾の常設化は、新たな電源や、電源ケーブルの架線と支柱の設置が必要となる。装飾や電飾は、季節感の演出や柳井の夏の風物詩といった面からも常設化は厳しいと考える。花火については、安全を確保し、基準に基づく打ち上げが出来る場所の選定に努めた。また祭りのフィナーレという趣旨から会場から一望できることは、必須条件と考える。こうした条件を満たす代替地は現時点はない。

## 観光の広域連携について 経済弱者にエアコンの導入を



三島 好雄 議員

**問** 観光の広域連携について伺いたい。また、提案ですが、柳井地域にある古墳群を見学するツアーを募集してはどうか。古代のロマン豊かなストーリー性のあるものにしてはどうか。また、夜中の天体観測ツアーを広域で企画されてはいかがか。周防大島町には「星のビーチ」、上関町には「皇座山」、柳井市には伊保庄地区など、天体観測を結ぶとおもしろい。天の川と無数の星を見ることができず。

**答** 本市が参画している広域連携の協議会としては、広島広域都市圏協議会、広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会、柳井地区広域行政連絡協議会、室津半島振興協議会、岩国錦帯橋空港利用促進協議会がある。多様な枠組みにおいて連携を進めていくことは、本市の観光振興と発展に資するものであり、今後ともこれらを最大限活用していきたい。

**問** 今年は大変暑い夏になり、自宅にエアコンがなければ、熱中症にかかる心配があります。特に生活保護世帯については、2009年、熱中症患者の増加から、これまででぜいたく品と見なされてきたエアコンを「健康で文化的な最低限度の生活」に必要な設備と見なしました。保護世帯や非課税世帯など広げていき、柳井市の熱中症で亡くなる人を無くしてもらいたい。

**答** 生活保護世帯については、ケーサーカーが定期的に訪問し、生活実態を確認する中で、エアコンの設置状況を把握することに努め、健康管理についても注意喚起するなど継続的に支援していく。生活困窮者から相談があった場合には、生活困窮者相談支援員を中心に、民生委員・児童委員の方々と連携しながら、相談者のニーズを的確に把握し、親切、丁寧に対応していきたい。市としてエアコン購入に特化した助成については、現時点考えていないが、国や県の支援策にも注視しつつ、対応していきたい。

## やまぐちフラワーランドの施設について 誰にでも優しいまちづくりについて



岩田 優美 議員

**問** やまぐちフラワーランドは2006年にオープンしてから17年が経過しました。昨年、障害者差別解消法の施行に伴い、山口県は「障害のある人もない人も共に暮らしやすい山口県づくり条例」を令和4年10月11日に公布・施行しました。フラワーランドの施設は、坂が多く車椅子やベビーカーを押すのは大変です。身障者用駐車場はロータリーに沿ってあるため入口に行くにも利用者は大変な思いをしています。誰でも安心して利用できる施設になるように県に要望できないのかと柳井市にできることをお伺いいたします。

**答** 自然との共生というテーマで建設されていることも踏まえた上で、施設所有者である山口県とは、バリアフリー環境の整備についてご意見があったことを共有し、障がい者のみならず高齢者、子育て世代にとっても利用しやすい施設になるよう連携して取り組んでいきたい。

**問** 身障者用駐車場の適正を図るため導入されている「やまぐち障害者等専用駐車場利用証制度」は、身体障がい者、高齢者、妊産婦、けが人など歩行や車の乗降が困難な人が市の窓口等に申請して利用証を貰う制度です。柳井市の登録施設が少ないのはなぜかと利用者への周知はしているのかをお伺いいたします。

**答** 本市における「やまぐち障害者等専用駐車場利用証制度協力施設」は、県内他市と比べると比較的少ない状況である。まずは市の施設で協力施設を増やしていくことで、民間施設に広がることにつながるのではないかと考える。また、優先駐車場を本来利用すべき人が利用できるように周知をしていく必要があると考えており、市のホームページに説明文を加え、そこから県のホームページにリンクするようにしたり、優先駐車場であることを分かりやすく表示をしたりするなど改善をしていきたい。

### 旧柳井南中学校の跡地活用について 県道柳井上関線の進捗状況について



藤沢 宏司 議員

**問** 旧柳井南中学校は昭和40年に阿月中学校と伊保庄中学校が統合され開校しましたが、令和2年3月、55年の歴史に幕を下ろし廃校となりました。この旧柳井南中学校跡地活用についてどうされるのかお聞かせください。

**答** グラウンド部分については、山口県社会福祉事業団が、特別養護老人ホーム伊保庄園の移転を検討していたことから、旧柳井南中学校跡地について情報提供した。その後、本年6月末に、前向きに市と協議していききたいとの申し出があった。市としても伊保庄園の移転を後押しし実現することで、柳井広域圏の福祉事業の拠点が確保され、併せて、市有地と借地部分の整理を図っていききたいと考えている。一方、校舎部分については、耐震性は無く、このままの状態を続けることは適切ではないことから、今年度中には市としての方向性を定めたい。

道柳井上関線の進捗状況についてお聞かせください。

**答** 山口県において平成13年からバイパス整備に着手していただいております。黒島地区から八幡団地付近までの約3.3kmが供用開始されている。残る未整備区間約1.2kmの整備状況については、昨年度、トンネル設計、県道取付道路等の設計や青木地区の切土、盛土工事を一部行い、今年度についても、引き続き切土、法面、盛土工事を行う予定であると聞いています。今後とも、残る未整備区間は、現状では伊保庄地区と阿月地区を結ぶ現道の狭い区間が残されているほか、現道とバイパスを連結する市道においてクランク形状の通行をする状況にあることから、バイパスの整備効果を十分に発揮するためには、一日も早い全線開通が期待されるところであり、山口県に対し、引き続き要望していく。

**問** 昨年の第2回定例会でも同様の質問をいたしましたが、その後の県

### 市長の政治姿勢について



君国 泰照 議員

**問** 市長は公務や公務出張で休む暇も無く多忙であります。しかし若者は、柳井市政、議会について無関心な者が多い状況であります。学校教育で社会の仕組みを教える場が必要ではないかお尋ねします。

**答** 日々の教育の中で、世の中の様々な職業について子どもたちに情報提供をしている。また、社会の仕組みについても社会科のみならず総合的な学習など様々な学習を通して子どもたちに伝えている。

育て世代移住・定住促進事業」を拡充した。本事業は大変好評であり、8月末現在61件の申請があり、その内21件は市外からの転入によるものであった。今後とも「人に企業に選ばれる魅力あるまち柳井」の実現に向けてあらゆる政策資源を投じていく。

**問** 今、国難とも言える日本人人口80万人の減少は、周知のとおりでございます。国も重点施策として人口減少・少子化対策に取り組んでいる中で、柳井市でも人口は年々減少しており令和5年3月には3万人を切っております。そこで市の対応と対策についてお尋ねします。

**答** 今年度は、子育て応援と定住促進を重点施策と位置づけ、新たに、中学生を対象とした学校給食の無償化をし、結婚に伴う家賃や引越し費用を助成している。また「子

まちづくりの一環として金魚ちようちん祭り、茶白山古墳の活用、図書館運営の三点を質す



坂ノ井 徳 議員

**問** 以前よりスポーツ大会が出来る「まちづくり」を提唱しておりましたが、7月のアデリーカップの開催、河村勇輝君の活躍、ロング・ライド、そしてプラチナ卓球も定着し、スポーツから見た「まちづくり」から市の行政に目を転じ、冒頭の三点を質問しました。

一番目は「金魚ちようちん祭り」の規模を更に大きくすることと併せて、フィナーレの花火の打ち上げを求めました。

**答** 金魚ちようちん祭りの主役は金魚ちようちんであることから、金魚ねぶたの充実などに思い切った予算も投じ注力することを考えており、このことについて議論していきたい。花火については、安全の確保が第一であり、また祭りのフィナーレを飾るといふ趣旨から、会場から一望できることも必須条件であると考えている。これらの条件を満たすことの出来る土地がない限り実施できないと考えている。

**問** 二番目は茶白山古墳の東側の木

の伐採、展示方法を改善することで集客アップすることを求めました。

**答** 現在、樹木が繁茂している箇所は、民有地であり、行政による民有地の伐採の是非については検討が必要となる。

**問** 最後の質問は建物（器）もでき、愛称も決定した図書館ですが問題は図書の中身で、いずれ15万冊の蔵書を見込んでいる訳ですが子育てに繋がる図書、図鑑などを中心とした蔵書を求め、どこにでもある図書館づくりではなく周辺地域から羨ましがられる図書館となるよう求めました。

**答** 学習支援、自立支援につながるような中高生向け書架エリアの設置や、子育て支援活動ツールとなる紙芝居、大型絵本等の拡充を図る。また、高齢者や障がい者にも対応する図書資料の購入も積極的に進めていく。公立図書館に求められる役割、現図書館が抱えてきた課題、複合図書館の機能等に留意しながら計画的に図書資料の拡充を進めていく。

市民活動団体へ視察研修を促しその経費の一部を補助出来ないか伺う  
柳井市の観光について伺う



田中 晴美 議員

**問** 市民の活動団体の方々にその活動をより進歩し充実して市や市民の皆様のために役立って頂く為、その活動の先進地へ視察研修を促し、その経費の一部を助成金として補助出来ないだろうか。補助率は、他市では補助対象経費の2分の1とされ、補助金上限は20万円、回数は3回とされ実施されています。視察研修のメリットは①コミュニケーションがとれる②イノベーションを起こす事が出来る③リフレッシュ効果は絶大なものであると言われています。

果的な手法について引き続き研究していきたい。

**答** 市民活動団体の方々が見聞を広げられ、活動内容の充実や活動の幅を広げていくことは、それぞれの団体が活性化するだけでなく、得られた知見が他の団体や市民に還元され、市民協働のまちづくりがさらに進むことにつながるものと考えている。従来から「市民活動センター」が情報提供している助成金の活用などを通じてその取組がされてきたと承知しているが、この度で提案の助成制度についても、効

**問** 今日、観光による経済波及効果はどの様に感じておられるか伺います。白壁通り柳井も釣りの町大畠も観光力がなくなってきたように思うが、それぞれ時代に合った観光を見つけて出すことに一歩足を踏み出すべきではないか。町を飾るだけではなく、地元へ観光客をしっかりともてなす為には、食、宿、買物など基礎の部分を立て直す必要はないだろうかお伺い致します。

**答** 「立ち寄る観光」から「滞在する観光」へシフトしていく上で、本市の観光素材と宿泊施設、食事処、お土産物店などが連携する中で観光商品としていく必要がある。様々な観光客のニーズを把握し、SNSなどの媒体を通じて、常に最新の情報を適時発信し、同時に関係団体や関係機関と連携していくことで、「滞在する観光」により経済への更なる波及効果を求めていきたい。

上関町の使用済み核燃料中間貯蔵施設建設について、学校給食への有機食材の採用促進と農業の活性化について



長友 光子 議員

**問** 上関町長が中間貯蔵施設にむけた調査を、柳井市や周辺自治体に説明も相談もなく拙速に決めたことをどう受け止めていますか。市民の疑問や不安に応えるために、上関町や中国電力に説明を求めるべきではありませんか。市民が安心して住み続けられるように発言や情報発信をすべきではありませんか。

**答** これまでの柳井広域1市4町での連携の取組といった経緯から、より慎重な対応、つまりは周辺への事前の配慮があつてよかつたのではないかと考える。我が国のエネルギー需給の問題は国策である以上、国や電力事業者には、市民に対する十分な時間と機会を確保した上での説明と質疑を尽くすなど、責任ある対応を求めていくことが必要であると認識している。

所得が保障されることにより、持続可能な地域農業に転換していくことが求められているのではないのでしょうか。

**答** 農業者が柳井市学校給食協会に入会されて学校給食における農産物を納入している。学校給食センターは、協力会からの農産物を優先して購入しているため、協力会に入会すれば販路が保証されるが、約2,200人分の規格マニュアルに沿った農産物を必要数量安定的に納入することが求められる。高齢化等により協力会会員が減少しており、今後は、広く会員を募集し供給体制の強化を図っていききたい。学校給食と農業の連携には課題も多いことから、まずは、柳井産の食材を安定的に供給できる体制を確保することから始め、その後有機農産物を増やしていくといった、段階的に進める方向で今後研究していきたい。

上関町による核廃棄物中間貯蔵施設建設の調査受け入れについて



中川 隆志 議員

**問** 市長は住民の不安解消のために、国や電力事業者から徹底的に説明を聴きたいと答弁されたが、エネルギー政策は国策であるので安全であるという説明しか返ってこない。第三者機関からの説明を聴くべきではないか。

**答** 安全性の確保、また安全の限界といった点について科学的、技術的な観点に立ってどういった形で説明していただくかについては、これから検討していく必要があると認識している。

解決し持続的な発展の土台になると考える。柳井市が役割を担っていくという視点から、これからも大いに全身全霊をささげて臨んでいきたいという思いである。柳井市のために、市民のためにやっていくことが、これまでの生活の実態から運命共同体としての柳井広域圏のためと連動していくという関係にあるのではないかと考えている。

**問** 原子力関連施設の誘致では、地域の分断や住民の不安は永遠に解消されない。自然エネルギー関連施設の導入を事業者も上関町も提案すべきであったと思う。市長には不安や分断の解決のために自然エネルギー関連施設の導入を柳井広域圏に提言して解決の糸口を作って欲しい。

**答** 上関町の地域振興について、柳井市として何ができるかといったことについては、柳井市が発展をしていくことが、この広域全体の課題を



答弁する井原市長

公設ドッグランの設置について  
伊方原発事故想定について



岡本 泰行 議員

**問** ①当市に於ける犬の登録数、飼育家庭数について。②犬も大切な住民であり、遊び場所はストレス発散に必要ではないでしょうか。③子ども

の減少により使用頻度の下がった公園を利用出来れば一石二鳥ではないかと思われます。ご意見をお聞かせください。

**答** 令和5年7月末で、犬の登録数は、1,679頭であり、ペットシヨップ等の登録数を除いた、家庭における飼育頭数は、1,515頭、また家庭における飼育世帯数は、1,361世帯となっている。犬は人間と同様にストレスを感じる生き物であり、広い場所で駆け回ることが出来るドッグランは、犬のストレス、運動不足解消には、有用な手段のひとつであると認識している。しかしながら、既存の公園をドッグラン施設に変更することについては、公園本来の目的、趣旨に鑑み、用途変更の必要性や市民の皆様の意見調整など、変更にあたり様々な課題があると思われ、まずは実際の公園利

用者や公園周辺に居住する人たちの意見を伺ってみたい。

**問** 稼働中の3号機は、MOX燃料棒も含まれており、加圧水型原子炉で中央構造線の近くに立地しており超危険な原発なのです。特に離島平郡はほぼ30キロ圏、事故を想定した当市のマニュアルはあるのでしょうか。原発をただちに停止することは無理なので甲狀腺被ばく対策の切り札としてヨウ素剤を住民の方々へ一刻も早く配布すべきだと思えます。ご意見をお聞かせください。

**答** 平郡島は緊急時防護措置を準備する区域「UPZ」の区域外であるため、事故を想定したマニュアルを策定していない。事故発生時、UPZ圏外で高い空間放射線量が計測された地域においては、国が避難等の緊急防護措置を講じることとなっており、必要に応じて対処していく。安定ヨウ素剤については、山口県柳井健康福祉センターが備蓄しているものを有事の際には使用する。

柳井市立平郡東小学校の運用について  
平郡島における遠隔医療体制について  
柳井市DX推進について



平岡 実千男 議員

**問** 令和5年4月に、3年間休校していた柳井市立平郡東小学校が開校されました。島民の方々も開校を喜び島の活性化に期待を寄せていますが、今後は児童を増やす取り組みが重要だと考えます。柳井市では、今後の運営についてどのようにしていくのかお伺いします。

**答** 本市では、本年度から子育て世代の定住促進のための施策について新設や拡充をしており、その一つに条件不利地域である離島対策としての空き家バンク制度の拡充がある。空き家バンクに登録された物件を購入した場合は費用や購入した空き家の家財の撤去費用を平郡島の場合には、補助をかさ上げしている。今回の新制度により、物件登録の申し出や若い世代の定住につながることを期待している。

**問** 昨年8月から今年2月までの7か月間にスマートアイランド推進実証調査が、国土交通省の承認のもと行われました。平郡島での継続利用はされませんでした。遠隔医療体制は重要であり、さらなる取り組みが必要だと考えます。柳井市では、遠隔医療体制についてどのように運営をしていくのかお伺いします。

**答** 市では、平郡島における医療体制を維持、持続させていくために、対面診療に加えてオンライン診療を進めていくことは重要であると認識している。オンライン診療が効果的に行えるよう関係機関と診療方針等の検討を継続していく。

**問** 令和5年5月に柳井市DX推進方針が策定されました。今後は早期にデジタル化を推し進めていく必要があると考えます。柳井市では、DX推進についてどのように取り組んでいくのかお伺いします。

**答** 複数課に亘って進めていく必要がある施設については、ワーキンググループなどを立ち上げ、具体的に調査や研究を始めている。デジタル技術を活用することで、行政の効率化や高度化、住民サービスの向上を図り、持続可能な地域社会の実現を目指し着実な取組を進めていく。

総務文教厚生  
常任委員会

委員長 岩田優美

本委員会は、会期中の9月11日と閉会中の8月3日に開催し、議案9件及び付託調査事項等ついて審査を行いました。

議案第41号から議案第43号までは、複合図書館新築工事に係るもので一括して審査を行いました。委員から契約金額が全体で約2億円増額となっており、屋根部材や外壁材の仕様変更を理由の一つに挙げていますが、どういふ変更があり、いくらかかるのかとの質疑に、当初、ガルバリウム鋼板を使用することとしていたが、メン

テナンス面を考慮し業者から提案のあった普通より4倍程度耐久性がある抗耐食塗装のガルバリウム鋼板を採用した。屋根の変更については、鉄骨価格の上昇分も含んでおり約9,000万円程度の増額になっていくとの答弁がありました。



建設中の複合図書館

議案第45号令和5年度一般会計補正予算(第6号)については、委員から弓道場建設工事基本・実施設

計委託料は、道路設置に係るものとのことだが、測量・設計委託料の630万5,000円は全く別のものなのか、弓道場の道路設置と一連のものなのかとの質疑に、弓道場建設工事基本・実施設計委託料は、隣接施設を解体する業務を今回新たに追加する経費であり、測量・設計委託料は、弓道場へのアクセス道を新たに作ることにしたので、その進上路と駐車場の整備造成に係るものであるとの答弁がありました。

閉会中の付託調査事項の学校教育等問題についてでは、委員から食事を提供する企業が業務を停止した件に関連し、柳井市においては同様の問題が起きる心配はないのかとの質疑に、給食調理に係る

光熱費等は市が負担していることから、それらの高騰により給食が止まることはない。委託業者が今の委託料では引き続きできないという相談があれば対応していきたいとの答弁がありました。

その他の事項では、報告のあと多くの質疑が交わされました。9月11日は、午後から建設中の複合図書館建物内の管内視察を行いました。



みどりが丘図書館建物内の管内視察の様子



総務文教厚生常任委員会

建設経済水道  
常任委員会

委員長 川崎孝昭

本委員会は、会期中の9月7日、閉会中の7月31日に開催し、議案3件及び認定議案2件、付託調査事項等について審査を行いました。

議案第47号令和5年度柳井市水道事業会計補正予算(第1号)に

ついて、委員から広域化に係る負担金の柳井市の割合を問う質疑に、負担割合は構成市町で令和4年度の有収水量により案分しており、柳井市の負担分は41・68%となっているという答弁がありました。



建設経済水道常任委員会

認定第1号令和4年度柳井市水道事業会計決算認定について、委員から毎年新築家屋が100世帯くらい建っているが、水道利用世帯が減るのは何が原因

かという質疑に、新築等で給水が始める戸数よりも転出や死亡等で給水をやめる世帯が今時点では上回っているという答弁がありました。また、委員から今から水道管の更新などを控えているので、水道のつなぎ込み加入促進を尽力していただきたいという要望がありました。

付託調査事項等では、株式会社デベロップとの進出協定及び災害協定の締結について報告があり、委員からコンテナを置いて電源などはどこから引張ってくるのかという質疑に、給排水及び電気は設置場所で接続しており、移動させて設置した場合は、移動先で電源などの手配をすることになるという答弁がありました。



株式会社デベロップのコンテナホテル事業

また、2023サザンセット・ロングライドinやまぐちについて報告があり、委員からコースにまだ草が繁茂しているところがあるため整備を求める要望がありました。

そのほか執行部から報告と説明の後、様々な質疑応答がなされました。

9月7日には、株式会社トクヤマゆうゆうファームの水耕栽培施設の管内視察を行いました。

### 議会運営委員会

#### 委員長 中川隆志

議会運営委員会を8月29日に開催しましたので概要を報告します。

(1) 9月定例会の会期、日程及び議案の付託先等について協議を行いました。

(2) クールビズに関して、本会議初日の議長からの発議により本会議においてはノーネクタイ、それぞれの議員の判断で上着を取ってもよい旨の確認をしました。

(3) タブレットの使用に関しては、9月定例会から試験的に運用し、本会議は紙ベースの説明とすることを確

認しました。

(4) 9月定例会から議会運営委員会終了後、定例会の議案書等も市議会ホームページに掲載することとしました。

(5) 議会運営委員会の閉会中の付託調査事項は、引き続き「議会の運営及び議会の会議規則、委員会に関する条例等並びに議長の諮問に関する事項について」と決定し、議長にお取り計らいをお願いしました。



議会運営委員会

# 傍聴にお越し下さい

柳井市議会では議会の傍聴ができます。本会議、委員会では、市民の皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されます。身近な市政を知るためにも、議会を傍聴しましょう。

## 主な議会の動き

### 7月



- 6日・山口県東部高速交通体系整備促進協議会（山口県及び山口河川国道事務所への要望活動）
- 7日・周防大島町議会へタブレット活用状況視察
- 11日・議会だより編集委員会
- 12日・山口県東部高速交通体系整備促進協議会（中国地方整備局への要望活動）
- 19日・柳井地区広域市町議会議員研修会
- 20日・令和5年度岩国3期成同盟会合同総会及び意見交換会

### 8月



- 31日・建設経済水道常任委員会
- 3日・総務文教厚生常任委員会
- 4日・第24回山口県市議会議員研修会
- 13日・第32回金魚ちょうちん祭りオープニングセレモニー
- 22日・第69回東部5市長会
- 29日・議会運営委員会
- 柳井市議会議員研修会「政治分野におけるハラスメントの防止について」

### 9月



- 4日・本会議1日目
- 5日・本会議2日目
- 6日・本会議3日目
- 7日・建設経済水道常任委員会
- 株式会社トクヤマ ゆうゆうファーム 管内視察
- 11日・総務文教厚生常任委員会
- みどりが丘図書館 建設地視察
- 20日・本会議最終日
- 議会だより編集委員会



議員研修会の様子

## 会議のお知らせ

閉会中の各委員会の日程は次のとおりです。

### ○建設経済水道

#### 常任委員会

11月6日(月) 午前9時から

#### 【場所】

全員協議会室(市役所5階)

※傍聴することができます。

※総務文教厚生常任委員会は

10月18日、10月23日に開催されました。

## 編集後記

記録的な猛暑でしたが皆様いかがお過ごしでしたか。季節の変わり目は体調を崩しがちです。くれぐれもご自愛ください。

### やない議会だより編集委員会

委員長	下村 太郎
副委員長	長友 光子
委員	岡村 茂樹
委員	岡本 泰行